



## デジタルサイネージを活用して情報発信強化 8つの公共施設で社会実験をスタート

市はケイズハウス株式会社（島根県出雲市）と連携し、デジタルサイネージを活用した情報発信に関する社会実験を5月1日からスタートする。

8つの公共施設に計10台を設置し、不特定多数に対してプッシュ型で最新の市政情報を広く発信する。社会実験における設置及び運営、維持管理に関する費用はデジタルサイネージで合わせて発信する民間広告の広告収入で賄い、公費負担なく情報発信媒体を安定的に運営することの可否についても検証する。

市とケイズハウス株式会社は1月に連携協定を締結。社会実験は令和8年3月までの約3年間。社会実験の開始にあたり、5月16日午前10時から市役所前に設置のデジタルサイネージ付近にてお披露目式を実施予定。

- ★ケイズハウス株式会社は島根県に本社を置く、印刷業や広告業などを営む会社。民間事業者と本市の対話の窓口として設置している「公民連携プラットフォーム」で市が募集した課題に対する同社からの提案を受けて、令和5年1月に連携協定を締結した。
- ★屋外用に3台（市役所本庁舎、ラポールひらかた、KTM河本工業総合体育館）、屋内用に7台（北部支所、津田支所、香里ヶ丘支所、ラポールひらかた、KTM河本工業総合体育館、渚市民体育館、誠信建設工業伊加賀スポーツセンター）の計10台を設置。各施設の特性や利用者等を踏まえた市政情報及び広告の発信を図っていく。
- ★ケイズハウス株式会社は実験に用いるデジタルサイネージや関連機器の調達、管理システムの開発、保守管理、民間広告の獲得等の全体調整を行うとともに、広告料金等により社会実験に必要な費用全体を負担する。  
市は、行政情報コンテンツの作成・発信及び民間広告内容の審査・承認と、デジタルサイネージの設置場所の提供を行う。
- ★発信される情報の割合は市政情報が3分の2、民間広告が3分の1。各デジタルサイネージの発信内容はweb上で管理され、市職員や各施設管理者などがそれぞれに付与された権限でリアルタイムに内容更新が可能。
- ★デジタルサイネージ機器設置や、広告スポンサー企業の募集は既に実施している。なお、広告スポンサー企業は社会実験期間を通して随時募集する。
- ★市の担当者は、「職員自らがリアルタイムで発信内容を設定できるデジタルサイネージは初めて導入する媒体なので、有効に活用して積極的な情報発信を行っていきたい」と話す。

＜デジタルサイネージの設置イメージ＞



▲屋外用デジタルサイネージ(約75インチ)



▲屋内用デジタルサイネージ(約55インチ)

**SUB Channel**  
サブチャンネル  
SUB Channel

市内10か所に設置されたデジタルサイネージが、枚方市の最新情報を提供します。地域の人々に必要な目的別の3つのチャンネルが枚方市の命を伝え、それぞれ目的に応じたマーケットへの発信ツールとして活用できます。

**チャンネルスポンサー 各20社限定募集!**

全設置箇所 **10**箇所  
屋外 3箇所 屋内 7箇所

**Sチャンネル**  
S Channel

**Uチャンネル**  
U Channel

**Bチャンネル**  
B Channel

1 屋外 枚方市役所前 〒573-1101 枚方市駅前2丁目1-35  
2 屋内 北部支所 〒573-1118 枚方市橋本2丁目29-5  
3 屋内 津田支所 〒573-0121 枚方市津田北町2丁目25-1  
4 屋内 香里ヶ丘支所 〒573-0084 枚方市香里ヶ丘3丁目13番地  
5 屋外 河本工業総合体育館前 〒573-0004 枚方市河本大池4丁目10-1  
6 屋内 河本工業総合体育館2F 〒573-0004 枚方市河本大池4丁目10-1  
7 屋内 清市民体育館 〒573-1178 枚方市清西3丁目28-10  
8 屋内 伊加賀スポーツセンター 〒573-0066 枚方市伊加賀西町63-2  
9 屋外 ラポールひらかた前 〒573-1001 大東区枚方駅前2丁目1-35  
10 屋内 ラポールひらかた1F 〒573-1001 大東区枚方駅前2丁目1-35

▲設置場所一覧

＜お問い合わせ＞ 政策推進課 ☎072-841-1149、ファクス 072-841-3039